

平成26年度 正親小学校学校経営の基本構想図

京都市学校教育の目標

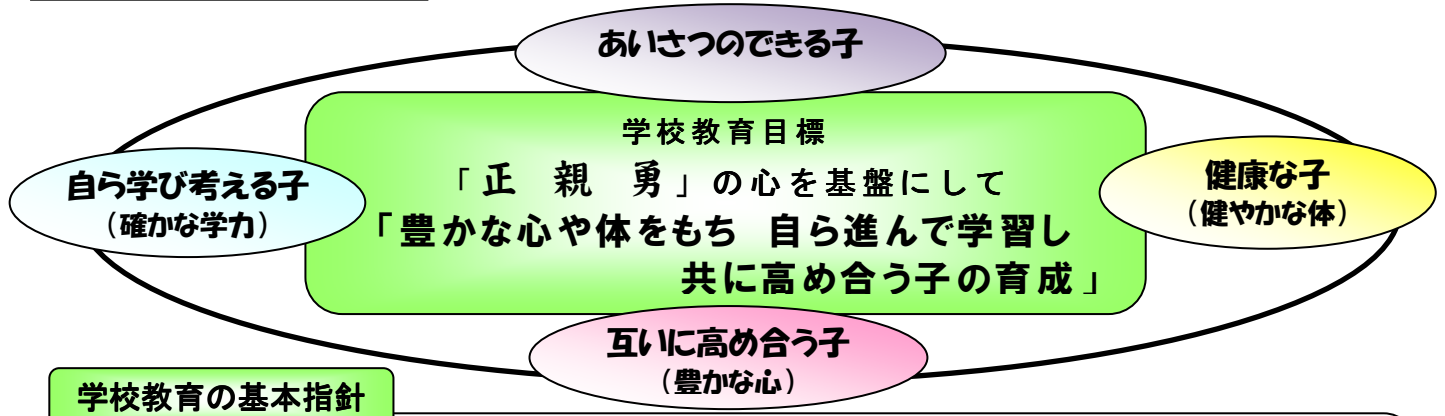
- 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども
- 確かなビジョンと力量をもつ教職員
- 市民ぐるみ、地域ぐるみの教育の核となる学校

学校経営方針

- ◇一人一人の子どもが **すくすくと伸びる学校**
- ◇一人一人の教職員が **専門性を発揮する学校**
- ◇家庭・地域と **活気ある活動を進める学校**

児童・保護者地域の実態

- 優しく素直で、明るい
・問題解決能力・活用力を伸ばしたい。
- ・自分も他の人も大切にすることを育てたい。
- 学校に協力的
・保護者の参画・支援をさらに高めていきたい。



学校教育の基本指針

- ① 相手のことを大切に考える、人とのつながりをもとうとする、礼儀正しいあいさつができる子を育成する。
- ② 一人一人の課題を明確にし、課題に応じた指導を徹底して行う。
- ③ 学校生活における規範意識の徹底を図る。
- ④ 保護者・地域と連携し「子どもを共に育む京都市民憲章」の具現化をめざす。

学校づくりの柱 (具体的な取組)

生きる力

確かな学力

- ◇基礎基本の確実な定着
 - ・読み、書き、計算、情報収集能力の向上
 - ・言語活動の充実とノート指導の徹底 ⇒ 思考力、表現力の向上
- ◇学習規律の確立
 - ・個が輝く豊かな集団づくり
- ◇指導力の向上
 - ・わかる授業の実践 ← 板書の工夫、個別の支援

豊かな心

- ◇人権教育、道徳教育の推進・充実
 - ・一人一人を大切にする学級経営
 - ・人権学習の系統的な実施
- ◇心の教育の充実
 - ・たてわりグループ活動を中心とした協働活動の推進

健やかな体

- ◇健康・安全教育の推進
 - ・基本的な生活習慣の確立 (挨拶、早寝、早起き、朝ごはん)
 - ・体育、保健学習・食育の充実
 - ・地域ぐるみの学校安全の展開
 - ・スポーツ活動の充実 (校内活動、地域スポーツ活動)

☆地域ぐるみの教育の推進 (家庭・地域との連携)

正親小学校学校運営協議会

学校評価委員会

学力向上委員会

～ 保幼小中連携教育推進～
～ 放課後まなび教室～

ふれあい文化委員会

～ 子ども土曜塾～

生活リズム・体力向上委員会

～ 長期宿泊・部活動～

地域安全委員会～正親安全見守りたい～